

Press Release



<<報道資料>>

2013 年 11 月 19 日

日本コンピュウェア株式会社

コンピュウェア、Research in Action 社のレポート 「Deep Application Transaction Management」で第 1 位に

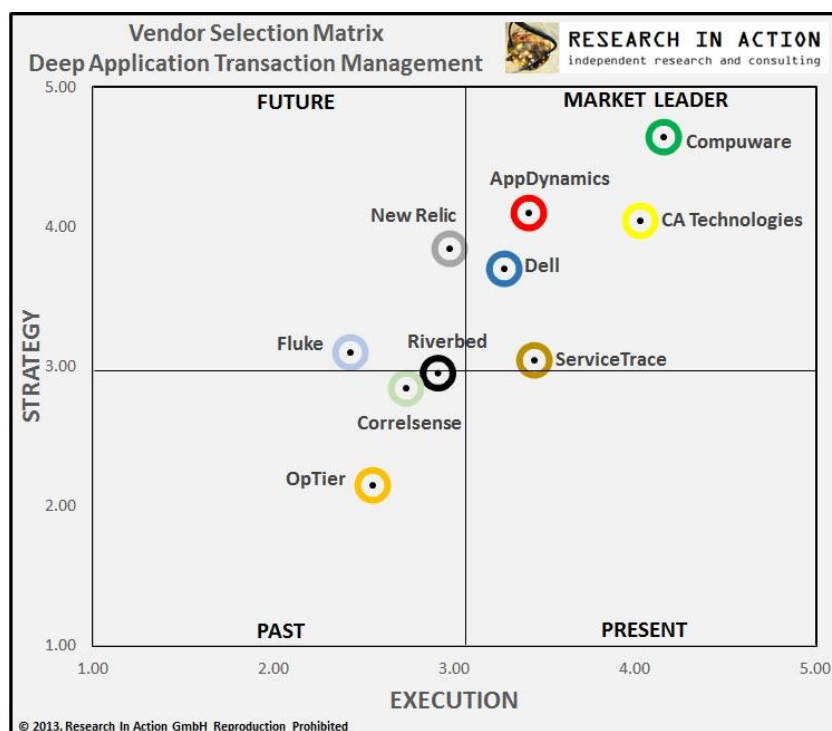
[APM分野における明らかなリーダーとして認定](#)

※当資料は、コンピュウェア コーポレーションが米国時間 2013 年 11 月 5 日に発表した報道資料の抄訳です。

米国ミシガン州デトロイト - 2013 年 11 月 5 日発表 - コンピュウェア コーポレーション (NASDAQ: CPWR) は、本日、独立系の業界分析企業である Research in Action 社により、[Deep Application Transaction Management](#) 分野において世界第 1 位のベンダーとして認定されたことを発表しました。

ベンダー10社の戦略と実行能力を評価した Research in Action 社の市場分析レポート「*The Need for Speed: Research In Action Vendor Selection Matrix - Deep Application Transaction Management*」において、コンピュウェアは、戦略と実行能力の双方において、すべての競合会社よりも上位に位置づけられました。またコンピュウェアは、市場で全体的に最もバランスのとれたソリューションを提供しており、ベンダー10社の中で最高の顧客満足度とマインドシェアを得ていることが判明しました。

レポートは[こちら](#)からダウンロードできます(英文のみ)。



Research in Action 社の社長である Thomas Mendel 博士は次のように述べています。「ユーザのモバイル化と、アプリケーションが企業およびクラウド全般へ分散する中、IT サービスの品質の維持がより大きな課題となりつつあります。現在、ほとんどの企業は、レガシーシステムだけでなく、多種多様なウェブアプリケーションおよびクラウドサービスを管理するという課題に直面しており、複雑さが非常に増えています。そこで、IT マネージャは、パフォーマンスの課題を自動検出し、実際のエンドユーザの体験を詳しく見極める機能を必要としています。それが手に入れば、自社のインフラ内だけでなく、アプリケーションからエンドユーザまでトランザクションパス全体のパフォーマンスを監視することができます。現在、コンピュータは、Deep Application Transaction Management のあらゆる側面を非常に的確に網羅しています。顧客が SaaS または従来型の導入方法を選択できることを考えると、コンピュータの将来は明るいと言えるでしょう。」

Research in Action 社は、「APM」市場をアプリケーションのパフォーマンスおよび可用性の監視・管理ツール市場と定義しています。また、同社は、市場規模を、ソフトウェアのライセンス、メンテナンス、および SaaS を含んで約 50 億ドル、年間成長率を 10～15 パーセントと見積もっています。さらに近年、この市場へ参入する企業が増加し、「APM」の意味合いが曖昧になってきました。そこで、Research in Action 社は、APM 市場の一部に焦点を絞り、アプリケーションからエンドユーザまでトランザクションの流れを監視・管理するソリューション、つまり Deep Application Transaction Management で検証しています。

コンピュータ APM 事業部のジェネラルマネージャである John Van Siclen は次のように述べています。

「今回の高い評価は、コンピュータの市場リーダーとしての地位や、イノベーション、業務を遂行・提供してきた長い歴史が明確に認められたことを示しています。APM および Deep Application Transaction Management に対する当社の新世代アプローチは、新たな業界標準を打ち立てるだけでなく、パフォーマンスの管理方法を根本的に変化させています。重要なのは、これはコンピュータだけでなく顧客企業にとっても素晴らしいニュースだということです。当社によるサポートが、顧客企業のエンタープライズ アプリケーションへの投資を最適化させていることが実証されたと言えるからです。」

■ Research in Action社のベンダー選択に関する免責規定

Research in Action 社は、当社の出版物に記載されているベンダー、製品、サービスを推奨、または最高ランクのベンダーのみを薦めることはありません。本研究論文に含まれている情報は、信頼できると判断された企業およびベンダーの情報源を基にしています。当社の研究論文は、アナリストの見解を記述したものであり、事実を羅列したものではありません。表明されている見解は、通知することなく変更される場合があります。当社は、商品性および特定の目的に対する適性を含め、本研究論文に関する明示的または暗黙的なすべての事項の保証をいたしません。

■ Compuware APMについて

Compuware APM は、新世代のアプリケーションパフォーマンス管理のリーディングソリューションです。従来の APM ソリューションが、動作が重く、使いづらく、リアクティブであるのに対して、Compuware APM は軽く、使い易く、プロアクティブに問題に対処できるシステムです。Compuware APM は、モバイル、クラウド、ビッグデータ、SOA を含めた、複雑化する最新のアプリケーションを管理できるように作られています。大企業から中小企業まで 5,000 社を超える企業が、Compuware APM を利用し、数万におよぶアプリケーションを最適化し監視しています。企業は、実際のエンドユーザ体感を理解することにより、より洗練された分析機能、先進的な自動化、パフォーマンスライフサイクルの基礎を活用し、パフォーマンスの向上、プロアクティブな問題解決、アプリケーションリリースの短縮、アプリケーション管理コストの削減を実現しています。

APM市場におけるコンピュータのリーダーシップについては、[こちら](#)に詳しく記載されています（英語のみ）。

■ コンピューウェアコーポレーションについて

コンピューウェアは、‘The Technology Performance Company’として、IT が問題なく稼働し、ビジネスに貢献するための、ソフトウェア、エキスパート、ベストプラクティスを提供します。コンピューウェアのソリューションは、全世界のリーディングカンパニーが IT を最大限活用できるように支援しています。これらのリーディングカンパニーには、Fortune 500 上位 50 社のうち 46 社や、米国の Web サイト企業上位 20 社のうち 12 社が含まれています。

- ・米コンピューウェアコーポレーション <http://www.compuware.com>（英文）
- ・日本コンピューウェア株式会社 <http://jp.compuware.com/>

コンピューウェアは、Twitter、Facebook などからも情報を配信しています。

- ・<http://twitter.com/compuware>（米国本社アカウント：英語）
- ・http://twitter.com/compuware_japan（日本コンピューウェアアカウント：日本語）
- ・<http://www.facebook.com/Compuware>（米国本社アカウント：英語）
- ・<http://outageanalyzer.com/>（Outage Analyzer：英語）

■ お問い合わせ先

・報道関係の方

日本コンピューウェア株式会社広報事務局（株式会社ジャパン・カウンセラーズ内）

TEL: 03-3291-0118、Email: compuware@jc-inc.co.jp

・Compuware APM ソリューションをご検討の方

日本コンピューウェア株式会社営業部代表

TEL: 03-5473-4531、Email: marketingjapan@compuware.com

※記載されているすべての製品名および会社名は各所有者の商標です。